

# 総務教育常任委員会資料

(平成26年8月21日)

## [件名]

- 1 平成26年台風第11号による被害状況等について  
(危機対策・情報課) … 別冊
- 2 島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の状況  
について (原子力安全対策課) … 1
- 3 平成26年度第2回原子力安全対策プロジェクトチーム会議  
の開催について (原子力安全対策課) … 3
- 4 原子力防災訓練に係る主要機関会議結果について  
(原子力安全対策課) … 4
- 5 平成26年度「防災週間」に関連して県内で実施される行事等  
について (消防防災課) … 5
- 6 鳥取県消防防災ヘリコプター愛称選考委員会(第2回)の  
開催結果について (消防防災課) … 9

危機管理局

## 島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の状況について

平成26年8月21日

原子力安全対策課

平成25年12月25日に申請が行われた島根原子力発電所2号機に係る原子力規制委員会（以下「規制委」という。）での新規制基準適合性審査会合の開催状況等は次のとおりです。

### 1 前回報告（7/2）以降に開催された審査会合

回数(開催日)	議 題	概 要
第9回 (H26. 7. 22)	確率論的リスク評価（PRA）	<p>新規制基準において対策が義務づけられた重大事故等について、どのような態様の事故を考慮する必要があるか分析を行うための「確率論的リスク評価（PRA）<sup>*1</sup>」に関する質疑・応答が行われ、規制委から、審査資料の非公開箇所の考え方の整理やPRAの内容に関してきちんと説明できるようにすること等についてコメントがあり、中国電力は検討する旨回答した。</p> <p>※1 確率論的リスク評価（PRA）： 原子力施設等で発生するあらゆる事故の発生頻度と発生時の影響を定量評価し、その積であるリスクがどれほど小さいかで安全性の度合いを表現するもの。PRAにより抽出された事故の態様（事故シーケンスグループ）ごとに、シビアアクシデント対策の有効性評価が行われる。</p>
第10回 (H26. 8. 5)	静的機器の単一故障に係る設計	<p>静的機器<sup>*2</sup>の単一故障<sup>*3</sup>に係る設計の妥当性について質疑・応答が行われ、規制委からは、静的機器の抽出・分類の考え方等について詳細な説明が求められ、中国電力は検討する旨回答した。</p> <p>※2 静的機器：配管や容器等の作動要素がない機器 ※3 単一故障：単一の原因（電源の喪失や腐食等）によって所定の安全機能を失うこと</p>

\*前回報告までに開催された審査会合については別頁のとおり

### 2 関係自治体向け説明会の開催

第9、10回審査会合の内容について、中国電力による関係自治体向けの説明会（6回目）が開催され、鳥取県を含む関係自治体の職員が出席した。（公開。一般傍聴可）

【日時】平成26年8月12日（火）13:30～15:30

【場所】島根県原子力防災センター

<参考> 前回報告までに開催された審査会合

回数(開催日)	議 題	概 要
第1回 (H26. 1. 16)	申請の概要	申請の概要説明が行われた。
第2回 (H26. 1. 28)	申請内容に係る主要な論点	申請内容に対する主要な論点(24項目)が規制委から示された。
第3回 (H26. 2. 20)	陸域の活断層評価	敷地周辺陸域の活断層評価について質疑・応答が行われた。
第4回 (H26. 3. 19)	海域の活断層評価	敷地周辺海域の活断層評価について質疑・応答が行われ、規制委から、鳥取沖西部断層の西端や敷地前面海域にある断層等のデータを拡充するようコメントがあり、中国電力はデータ拡充について検討する旨回答した。
第5回 (H26. 4. 9)	海域の活断層評価(コメント回答)	前回会合の指摘を踏まえた敷地周辺海域の活断層評価に係る追加調査計画について質疑・応答が行われ、規制委から、調査範囲の拡大や陸域の追加調査の実施等についてコメントがあり、中国電力は検討する旨回答した。
第6回 (H26. 4. 16)	地下構造評価	島根原子力発電所敷地の地下構造モデルについて質疑・応答が行われ、規制委から、地下構造モデルの妥当性や速度層断面図の境界層の設定の考え方等について、データ等を用いて詳細な説明するようコメントがあり、中国電力は検討する旨回答した。
第7回 (H26. 5. 1)	陸域・海域の活断層評価(コメント回答)	これまでの審査会合等でのコメントを踏まえた敷地周辺陸域(宍道断層)および敷地周辺海域の追加調査計画について質疑・応答が行われ、概ね了承されたことから、中国電力は準備が整い次第、調査に着手することを報告した。
第8回 (H26. 6. 27)	震源を特定せず策定する地震動	「震源を特定せず策定する地震動」について質疑・応答が行われ、規制委から、表現の見直しや第6回審査会合における地下構造評価での説明との整合性についてコメントがあり、中国電力は検討する旨回答した。

## 平成26年度第2回原子力安全対策プロジェクトチーム会議の開催について

平成26年8月21日

原子力安全対策課

島根原子力発電所の安全対策の取組状況等と本年度の原子力防災訓練について、関係者間の認識を共有するため原子力安全対策プロジェクトチーム会議を開催しました。

1 日 時 平成26年7月23日(水) 午後1時30分～2時20分

2 場 所 災害対策本部室

3 出席者 知事、副知事、各部局長、警察本部、教育委員会、中国電力 等

※米子市、境港市、三朝町、中部・西部総合事務所はテレビ会議で参加。各市町村にも自治体衛星通信で配信。

### 4 内容等

#### (1) 島根原子力発電所2号機の状況等(説明者：中国電力島根原子力本部)

島根原子力発電所2号機の審査状況等について説明を受け、質疑応答を行うとともに今後の対応等も含め、安全協定に基づく本県回答(H25.12.17)の確実な履行、本県への適時適切な説明・報告等を求めるとともに意見を述べました。

##### ア 2号機の審査会合に対する意見

- ・審査会合において中国電力として説明責任をはたしていただきたい。
- ・汚染水対策、突道断層、フィルタベント(シビアアクシデント対策)、津波等について慎重に判断していただきたい。

##### イ 3号機の取扱いに対する意見

2号機の審査状況を反映させながら審査に望む、という説明があつたが、3号機の取扱いには明確な方針を伺っていない。方針決定されるのであれば、きちんとした説明をお願いしたい。

##### ウ 1号機の取扱いに対する意見

40年規制(原子力発電所の40年運転制限)という基本原則があり、これは重いものである。地元的安全性を第一に考え判断していただきたい。

#### (2) 平成26年度原子力防災訓練について

避難時間の短縮(4日間→20時間)に伴い、避難の継続的な実効性の確保(避難計画の深化と体制の整備)を目的とし、主要訓練項目として障がい者施設入居者等の避難、わかりやすい住民等への広報等を検証することを確認した。

ア 島根原子力発電所対応・・・2県6市との共同訓練 10/18(土)

イ 人形峠環境技術センター・・・岡山県との共同訓練 10月頃

#### (3) 広域住民避難計画説明会の状況(説明者：米子市、境港市)

UPZ内の16地区のうち9地区で開催されたところであり、引き続き、住民説明会をしっかりと行う。(各地区の避難計画説明会の前段に、中国電力が新規基準の申請概要についての説明会を実施)(説明会での主な意見等)

- ・段階的に避難することになっているが、自主的に早期避難する人がいるのではないか。
- ・住民に対する情報伝達はどのようにされるのか。
- ・要配慮者(高齢者、子ども等)は、優先避難できるようにしてほしい。
- ・島根県からの避難者が弓浜半島を利用することを想定しているか。
- ・西風が多いので、岡山県方面を避難先としてはどうか。

## 原子力防災訓練に係る主要機関会議結果について

平成26年8月21日  
原子力安全対策課

原子力防災訓練（島根原子力発電所対応）の主要機関会議を開催し、今年度の原子力防災訓練の素案を示し、2県6市及び関係機関と内容を共有しました。  
今後、訓練内容の細部の検討を行っていきます。

- 1 日時  
平成26年8月1日（金）午後2時～3時30分
- 2 場所  
島根県原子力防災センター（オフサイトセンター） 島根県松江市
- 3 出席者  
鳥取県側：鳥取県、鳥取県警察本部、米子市、境港市、西部消防局等  
島根県側：島根県、島根県警察本部、松江市、出雲市、安来市、雲南市、各消防本部等  
その他：島根原子力規制事務所、自衛隊、中国電力株式会社、その他防災関係機関
- 4 今年度の鳥取県原子力防災訓練の素案

- (1) 日程  
平成26年10月18日（土） 2県6市の主催により実施（共同訓練）
- (2) 今年度の訓練で検証すべき主な課題  
避難時間の短縮に伴う、避難の引き続きの実効性の確保  
→ 避難計画の深化と体制の整備（避難時間の短縮への対応）
  - ・より実態に即したスクリーニング等の実施（避難住民への総合支援）
  - ・障がい者施設入居者等の避難
  - ・多様な避難手段の検証（JR・航空機・船舶等）
  - ・わかりやすい住民等への広報
  - ・避難者の緊急輸送
- (3) 鳥取県の主要な訓練項目（案）  
一日訓練のため、住民避難訓練部分に重点を置く。

訓練項目	内容
本部等運営訓練 （初動対応訓練）	鳥取県災害対策本部等運営、2県6市の首長によるTV会議、関係機関との通信連絡訓練
オフサイトセンター訓練	統轄監及びオフサイトセンター要員の派遣、原子力災害合同対策協議会の運営
住民避難訓練 （※約300名の住民が参加予定）	米子市・境港市住民の参加により、一時集結所からバス・JR・船舶・航空機等多様な避難手段により避難させ、名和総合運動公園（大山町）でスクリーニングを実施 （新）避難者に対する各種避難支援
避難行動要支援者避難訓練	（新）障がい者、入院患者、聴覚障がい者及び外国人等の避難
緊急被ばく医療活動訓練	避難住民へのスクリーニング及び簡易除染手順の確認、スクリーニング動員者の実態に即した指導方法の手順確認、安定ヨウ素剤予防投与、初期被ばく医療訓練
緊急時モニタリング訓練	新たに整備した可搬型モニタリングポスト等を活用したモニタリングの実施及び技術習熟
県営広域避難所開設訓練	広域避難所（居住スペース）の設営及び計画動員数による開設所要時間の確認（※鳥取市内の施設を予定）
広報・情報伝達訓練	あんしんトリピーメールや道路情報表示板等を使用した広報、報道機関との連絡調整、要配慮者や一時滞在者への広報・情報伝達相談窓口の設置、外国人観光客への広報
学校の避難訓練	学校等との通信連絡、屋内退避等 ※訓練当日は休日であることから、18日以外でも実施予定
避難誘導、交通規制等訓練	県警による避難誘導、県警ヘリによる映像伝送等
原子力防災研修等	スクリーニング会場（名和農業者トレーニングセンター）等における訓練参加住民への原子力防災研修・展示等

- 5 今後のスケジュール  
9月下旬に訓練内容決定（原子力防災訓練第3回主要機関会議）

平成26年度「防災週間」に関連して県内で実施される行事等について

平成26年8月21日  
消 防 防 災 課

9月1日は関東大震災に因んで定められた「防災の日」です。本年も、防災の日(9月1日)を含む「防災週間(8月30日～9月5日)」の前後は、防災訓練等の防災に関するイベントが全国的に開催され、地域住民や企業等と一体となって防災知識の普及啓発が図られます。県内においても、下記のとおり各種行事が実施されます。

【1】各種訓練

実施日	行事名	実施内容	時間・場所等	問い合わせ先 (電話番号)
8月31日(日)	八頭町防災訓練	集落及び自治会等で組織する「自主防災組織」の初動対応訓練を実施。	時間:午前7時20分～9時 場所:八頭町内全域 参加予定者数:約5,000人	八頭町総務課 (0858-76-0203)
9月1日(月)	避難訓練(地震・津波)	休憩時間に鳥取県沖東部断層で地震発生後、津波発生を想定し、グラウンドへ一時避難を、高等部校舎屋上への二次避難を実施。	時間:午後1時10分～2時 場所:県立白兔養護学校(鳥取市伏野1550-1) 参加予定者数:約280人	県立白兔養護学校 (0857-59-0585)
	情報伝達訓練	早朝の県西部での大地震を想定し、夜勤看護師からの第1報を受け、携帯電話で緊急連絡網に沿って全職員への伝達と参集要請を行う。	時間:午後7時～8時 場所:総合療育センター(米子市上福原7丁目13-3) 参加予定者数:約100人	総合療育センター事務部 (0859-38-2155)
9月10日(水)	平成26年度第37回鳥取市総合防災訓練	地震・津波に対応するため自主防災会、防災関係機関及び市災害対策部等が総合的に連携して行う訓練を実施。	時間:午前10時～12時 場所:鳥取市内全域 参加予定者:自主防災会、防災関係機関及び鳥取市災害対策本部等	鳥取市危機管理課 (0857-20-3127)
9月12日(金)	多数傷病者訓練	多数傷病者交通事故を想定した救急搬送訓練を実施。	時間:午前10時～12時 場所:羽合消防署(湯梨浜町はわい長瀬583-5) 参加予定者数:約30人	鳥取中部ふるさと広域連合消防局 (0858-26-7182)
9月13日(土)	北栄町総合防災訓練	避難訓練を実施。	時間:午前8時～ 場所:北条庁舎周辺 参加予定者数:未定	北栄町総務課 (0857-37-3111)
9月上旬	南部町防災訓練	ゲリラ豪雨により河川が増水し、避難判断水位を超え、土砂災害警戒情報が発表され、町内各地に土砂災害が発生する危険性が高まったという想定で住民避難訓練を実施。	時間:午前8時30分～11時30分 場所:南部町内全域 参加予定団体:南部町社会福祉協議会、南部町赤十字奉仕団、米子消防署、米子警察署他	南部町総務課 (0859-66-3112)
9月27日(土)	中部広域消防連絡協議会実働訓練(防災フェスタ関連事業)	倉吉南方断層を中心とした地震(震度6弱)が発生したという想定で、中部地区市町、消防団、消防局、各防災関係機関による、総合的な現場運用、情報伝達、避難、応援体制等の確立を目的とした大規模火災想定訓練を実施。	時間:午前9時30分～11時 場所:倉吉市上北条地区 参加予定者数:約120人	中部ふるさと広域連合消防局 (0858-26-7183)
	倉吉市総合防災訓練(防災フェスタ関連事業)	倉吉南方断層を中心とした地震(震度6弱)が発生したという想定で、上北条地区を中心に住民避難訓練、避難所設置・運営訓練、炊き出し訓練、災害対策本部設置訓練を実施。	時間:午前9時30分～11時 場所:倉吉市上北条地区 参加予定者数:約120人	倉吉市防災安全課 (0858-22-8162)
9月28日(日)	日南町総合防災訓練	災害対策本部運用訓練、情報収集伝達訓練、応急対策訓練及び避難訓練等を実施。	時間:午前8時～ 場所:日南町内全域 参加予定者数:約500人	日南町総務課 (0859-82-1111)
	伯耆町防災訓練	集落などで避難訓練を実施し、役場では対策本部運営訓練を実施。	時間:午前8時～ 場所:伯耆町内全域 参加者予定数:約2,000人	伯耆町総務課 (0859-68-3111)
10月3日(金)	本部図上訓練(原子力防災研修)	原子力災害等を想定したシナリオを基に、避難指示等の住民防護活動に係る図上演習を実施。	場所:鳥取県原子力防災センター(鳥取県松江市内中原町52) 参加予定者数:約100人	県原子力安全対策課 (0857-26-7973)

実施日	行事名	実施内容	時間・場所等	問い合わせ先 (電話番号)
10月5日(日)	日吉津村防災訓練	災害対策本部設置訓練、避難訓練(津波避難含む)、避難所設置・運営訓練、無線通信訓練、炊き出し訓練を実施。	時間:午前9時～ 場所:日吉津村内全域 参加予定者数:約400～500人	日吉津村総務課 (0859-27-5950)
	日野町一斉防災訓練	豪雨による土砂災害を想定し、訓練を実施。	時間:午前9時～ 場所:日野町内 参加者予定者:全自治会	日野町総務課 (0859-72-0331)
	江府町総合防災訓練	各集落での防災訓練、江府町消防団と地元集落との合同消火訓練を実施。	時間:未定 場所:江府町内全域 参加予定者:約2,000人	江府町総務課 (0859-75-2211)
10月10日(金)	防災避難訓練	日本海沖を震源とする地震後、火災の発生を想定し、参加者が安全な経路を探し避難する総合訓練を実施。	時間:午後2時50分～3時50分 場所:米子西高等学校敷地内(米子市大谷町200番地) 参加予定者数:約1,000人	米子西高等学校 (0859-22-7421)
10月13日(月)	大山町防災訓練	計画中	時間:未定 場所:大山町内 参加予定者数:未定	大山町総務課 (0859-54-5201)
10月18日(土)	原子力防災訓練 (島根県原子力発電所対応)	島根原子力発電所における事故・トラブルを想定し、緊急時における対応能力の向上を図るため、2県6市による共同訓練を実施。	時間:午前8時～12時 場所:鳥取県庁他(鳥取市東町1-271) 参加予定者数:約800人	県原子力安全対策課 (0857-26-7973)
10月(未定)	本部図上訓練 (人形峠環境技術センター対応)	原子力災害等を想定したシナリオを基に、避難指示等の住民防護活動に係る図上演習を実施。	時間:未定 場所:上齋原オフサイトセンター (岡山県苫田郡鏡野町上齋原514-1) 参加予定者数:約100人	県原子力安全対策課 (0857-26-7973)
10月(未定)	原子力防災訓練 (人形峠環境技術センター対応)	独立行政法人日本原子力開発機構人形峠環境技術センターにおける原子力事故・トラブル発生時の対処能力の向上、モニタリング等の練度の維持・向上を図ることを目的とした鳥取県、岡山県等合同訓練を実施。	時間:未定 場所:鳥取県庁他(鳥取市東町1-271) 参加予定者数:約40人	県原子力安全対策課 (0857-26-7973)
10月(未定)	岩美町防災訓練	災害対策本部運用訓練・住民避難訓練・避難誘導訓練・消火訓練・負傷者搬送訓練・初期消火訓練・物資搬送訓練・倒壊家屋救出救助訓練・災害ボランティア活動訓練を実施。	時間:未定 場所:岩美南小学校(岩美町新井419-2) 参加予定者数:約500人	岩美町総務課 (0857-73-1411)
10月上旬～中旬	防災訓練	計画中	時間:未定 場所:鳥取県農業試験場(鳥取市橋本260) 参加予定者数:約40人	県農業試験場 (0857-53-0721)
10～11月頃	三朝町、三朝町消防団国民保護実働訓練	某国特殊部隊が町内で発見されたことを想定し、対象地域住民の避難訓練を実施。	時間:未定 場所:三朝町内(詳細未定) 参加予定者数:未定	三朝町危機管理課 (0858-43-3513)
10～11月頃	三朝町水防訓練	水防工法の講習会を開催するとともに、水害が発生したという想定で水防工法を活用した対応訓練を実施。	時間:未定 場所:三朝町内(詳細未定) 参加予定者数:約100人	三朝町危機管理課 (0858-43-3514)
11月2日(日)	とっとり防災フェスタ2014	県が実施する総合防災訓練に、県民がオープンに参加・体験できる防災訓練要素を盛り込み、フェスタ形式として実施。	時間:午前10時～午後3時 場所:大御堂廃寺跡公園(倉吉市駄経寺町) 参加予定者数:約5000人	県危機対策・情報課 (0857-26-7878)
	[とっとり防災フェスタ2014]湯梨浜町総合防災訓練	地震、大雨による土砂災害避難訓練を実施。	時間:午前8時30分～ 場所:湯梨浜町東郷地区 参加予定者:東郷地区住民、羽合消防署	湯梨浜町総務課 (0858-35-3115)
11月9日(日)	智頭町消防団総合訓練	式典、操法、一斉放水を行う。	時間:午前8時～12時 場所:智頭町民運動場 参加予定者数:約450人	智頭町総務課 (0858-75-4111)

実施日	行事名	実施内容	時間・場所等	問い合わせ先 (電話番号)
11月23日(日)	平成26年度第8回鳥取市国民保護訓練	テロ災害に対応するため住民避難を主体に訓練を実施。	時間:午前9時～12時 場所:鳥取市鹿野町内 参加予定者:自主防災会、防災関係機関及び市災害対策本部等	鳥取市危機管理課 (0857-20-3127)
11月(未定)	若桜町防災訓練	豪雨災害を想定し、災害情報の収集と伝達、自主防災活動と避難誘導、防災体制の初動措置の対策と配備、防災関係機関の相互連携を図る。	時間:未定 場所:若桜町内 参加予定者:若桜町、各自治会、各防災関係機関	若桜町総務課 (0858-82-2211)
12月14日(日)	琴浦町総合防災訓練	沿岸部では津波被害、山間部では土砂災害を想定した訓練を実施。	時間:未定 場所:琴浦町内 参加予定者数:未定	琴浦町総務課 (0858-52-2111)
平成26年度下半期	本部図上訓練 (島根県原子力発電所対応)	島根原発での原子力災害等を想定したシナリオを基に、緊急時における対応能力の向上を図るため、県の各関係機関による図上訓練を実施。	時間:未定 場所:県庁、総合事務所等 参加予定者数:未定	県原子力安全対策課 (0857-26-7973)

## 【2】啓発活動等

実施日	行事名	実施内容	時間・場所等	問い合わせ先 (電話番号)
8月7日(木)	放射線研修会(中部地域)	放射線に関する健康影響に係る相談対応等を行う市町や県の職員等を対象として、放射線の基礎等に関する研修会を開催。	時間:午後1時30分～3時30分 場所:倉吉体育文化会館(倉吉市山根529-2) 参加者予定者数:約60名	県原子力安全対策課 (0857-26-7974)
8月8日(金)	放射線研修会(東部地域)	放射線に関する健康影響に係る相談対応等を行う市町や県の職員等を対象として、放射線の基礎等に関する研修会を開催する。	時間:午前10時～12時 場所:鳥取県東部庁舎(鳥取市立川町6-176) 参加予定者数:約80人	県原子力安全対策課 (0857-26-7974)
	米子市原子力防災説明会	富益地区住民を対象に、「島根原子力発電所の安全対策」と「広域住民避難計画」をテーマに中国電力と合同の説明会を実施。	時間:午後7時30分～9時30分 場所:富益公民館(米子市富益町788) 参加者数:50人	米子市防災安全課 (0859-23-5337)
8月29日(金)	米子市防災講演	義方地区住民を対象に、「米子市の防災対策」をテーマに講演を行う。	時間:午前10時～11時30分 場所:義方公民館(米子市立町4丁目105-23) 参加予定者数:約30人	米子市防災安全課 (0859-23-5337)
8月31日(日)	自主防災組織研修	自主防災組織講演として消火訓練・煙体験・応急手当を実施。	時間:午前9時～ 場所:倉吉市上井地区 参加予定者数:約80人	鳥取中部ふるさと広域連合倉吉消防署 (0858-26-2122)
	鳥取市防災リーダー養成研修会	防災に関する研修会を開催し、地域の防災リーダーを養成する。	時間:午前9時30分～ 場所:鳥取大学(鳥取市湖山町南4丁目101) 参加予定者数:325人	鳥取市危機管理課 (0857-20-3127)
9月1日(月)	出前講座 (就將公民館)	「災害に備えて、身近でできる防災対策」をテーマに、住民を対象とした防災講演会を実施。	時間:午後1時30分～3時 場所:就將公民館(米子市大谷町1番1) 参加予定者数:約50人	県消防防災課 (0857-26-7082)
9月2日(火)	出前講座 (明德地区公民館)	防災ピクニックを実施。	時間:午前10時～12時 場所:行徳公園 参加予定者数:未定	県消防防災課 (0857-26-7082)
9月4日(木)	保育園防災訪問	防災ダック(防災カードゲーム)、紙芝居、煙体験を実施。	時間:午前8時45分～11時40分 場所:うつぶき保育園(倉吉市東昭和町177-1) 賀茂保育園(三朝町本泉916) 参加予定者数:約100人	鳥取中部ふるさと広域連合倉吉消防署 (0858-26-2122)
9月17日(水)	出前講座 (鳥取市立湖南学園)	地震を想定し、避難訓練を実施後、地震をテーマに防災教室を開催。	時間:午前10時55分～11時30分 場所:鳥取市立湖南学園(鳥取市六反田1-5) 参加予定者数:146人	県消防防災課 (0857-26-7082)



実施日	行事名	実施内容	時間・場所等	問い合わせ先 (電話番号)
9月28日(日)	鳥取市防災リーダー養成研修会	防災に関する研修会を開催し、地域の防災リーダーを養成する。	時間:午前9時30分～ 場所:鳥取大学 (鳥取市湖山町南4丁目101) 参加予定者数:325人	鳥取市危機管理課 (0857-20-3127)
9月末～11月	岩美町防災活動協力員養成講座の開催	地域の自主防災活動のリーダー的役割を担う者を育成するため、防災に関する専門的な知識を習得するための防災講座を開催。	場所:岩美町中央公民館 (岩美町浦富1038) 参加予定者数:約50人	岩美町総務課 (0857-73-1411)
10月12日(日)	米子市防災講演	福平女性防災会を対象に、「米子市の防災対策」をテーマに講演を行う。	時間:午前9時～10時30分 場所:米子市淀江町福平自治会内 参加予定者数:約30人	米子市防災安全課 (0859-23-5337)
10月4日(土) (予定)	鳥取県西部地震から14年フォーラム	鳥取県西部地震、東日本大震災の体験やその後の取り組みから、地域・住民の日頃の取り組みについて参加者全員で学ぶ。	時間:午後1時～4時 場所:日野町山村開発センター大会議室(日野町根雨101) 参加予定者数:未定	県消防防災課 (0857-26-7082)
10月18日(土)	平成26年度水害・土砂災害に関するシンポジウム	「水害・土砂災害から身を守るために」をテーマに、基調講演とパネルディスカッションを実施。	時間:午後1時～4時 場所:鳥取市民会館 (鳥取市掛出町12) 参加者:一般県民、防災担当者(国・県・市町)、鳥取県土木防災・ボランティア協会会員等	県河川課 (0857-26-7386)
10月23日(木)～ 10月24日(金)	中国・四国ブロック女性(婦人)防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会	女性(婦人)防火クラブの活動報告、講演会、交流会等を実施。	時間:午後1時～ 場所:米子ワシントンホテル (米子市明治町125) 参加予定者数:約100人	県消防防災課 (0857-26-7082)
10月30日(木)	米子市防災講演	米子市女性団体連絡協議会を対象に、「米子市の防災対策」をテーマに講演を行う。	時間:午後1時30分～2時30分 場所:米子市福祉保健総合センターふれあいの里 (米子市錦町1丁目139-3) 参加予定者数:約50人	米子市防災安全課 (0859-23-5337)
11月2日(日)	平成26年度鳥取県自主防災組織等知事表彰表彰式(とっとり防災フェスタ2014)	平成26年度鳥取県自主防災組織等知事表彰の表彰式を実施。	時間:未定 場所:大御堂廃寺跡公園 (倉吉市駄経寺町) 参加予定者:受賞者	県消防防災課 (0857-26-7082)
11月15日(土) (予定)	平成26年度鳥取県防災活動発表大会	平成25年度から実施している「住民が主体となった防災体制構築支援事業」によるモデル市町村の取り組み事例の発表、参加者によるワークショップを実施。	時間:午前10時～午後3時50分 場所:上灘公民館 (倉吉市上灘町9番地1) 参加予定者数:約100人	県消防防災課 (0857-26-7082)

### [3]広報等

実施日	行事名	実施内容	時間・場所等	問い合わせ先 (電話番号)
8月30日(土)～ 9月5日(金)	広報宣伝	防災広報宣伝、のぼり旗・懸垂幕を掲出。	場所:倉吉消防署管内	鳥取中部ふるさと広域連合倉吉消防署 (0858-26-2122)
8月下旬	防災記事の掲載	災害の備え等についての記事を町報に掲載、町内全戸配布を実施。	—	伯耆町総務課 (0859-68-3111)
9月4日(木)	防災記事の掲載	避難場所、避難経路確認啓発、避難勧告等の説明、非常持ち出し品の例示についての記事を広報なんぶ9月号に掲載、庁内全戸配布を実施。	—	南部町総務課 (0859-66-3112)
10月25日(土) 又は 10月26日(日)	鹿野わったいな祭りにおける啓発活動	消防車展示、はしご車体験搭乗、起震車体験、住宅用火災警報器広報啓発他。	場所:鹿野町総合支所周辺 (鳥取市鹿野町鹿野1517)	鳥取市役所鹿野町総合支所地域振興課 (0857-84-2011)

## 鳥取県消防防災ヘリコプター愛称選考委員会（第2回）の開催結果について

平成26年8月21日  
消 防 防 災 課

鳥取県消防防災ヘリコプターの新しい機体では、機体の基本デザインの変更は行いませんが、多くの方々に親しまれ、安全・安心の支えとなるよう愛称の公募を行いました。このたび愛称の公募期間が終了し、愛称の選考を行うため、第2回鳥取県消防防災ヘリコプター愛称選考委員会を下記のとおり開催しました。

- 1 日 時 平成26年8月4日（月）14:00～15:30
- 2 場 所 県庁第二庁舎9階第21会議室
- 3 出席者

分野	氏 名	役 職 等
有識者	井木博子 (いぎひろこ) (委員長)	アザレア法律事務所弁護士 (元鳥取県消防及び危機管理に関する基本条例見直し検討 委員会委員。消防防災についての知識、関心を持つ専門家)
有識者	佐藤淳子 (さとうじゅんこ)	とっとり震災支援連絡協議会事務局長 (男女共同参画、子育てなど幅広い分野での専門家)
地 元	岸 多津 (きしたづ)	鳥取市湖東地区賀露公民館主任
消 防	藤山史郎 (ふじやましろう)	西部広域行政管理組合消防局主査
県	城平守朗 (じょうひらもりあき)	鳥取県危機管理局長

### 4 議 題

- (1) 愛称の応募状況について（別紙のとおり）

公募期間	平成26年6月10日（火）～7月18日（金）
応募件数	2,369件（県内633件、県外1,736件） ※全都道府県から応募あり
応募者	1,333人（県内380人、県外 953人）

- (2) 入賞作品の選考について
- (3) 入賞作品の決定方法について
- (4) その他

### 5 選考状況

多くの応募作品の中から各委員で10点ずつ選考し、各委員から選考すべき愛称の考え方について審議を行った。主な選考すべき愛称の考え方は次のとおりであった。

<順不同、重複有>

- ・わかりやすく、鳥取というイメージがあるもの。
- ・子どもにもわかり、子どもにもうけて、子どもにも言えそうなもの。
- ・鳥取のイメージがわかりやすく、パッと聞いて音の響きがよく、呼びやすいもの。
- ・シンプルで安らぎを感じるもの。
- ・県民になじみがあるもの。
- ・県民に親しまれ、遊び心があるもの。
- ・県外の人が鳥取をイメージしやすく、幅広い年代の県民が親しみを感じるもの。
- ・県内機関でつけられている愛称と重複しないもの。
- ・人命を守る言葉でオリジナリティがあるもの。

- ・県内外でインパクトのあるもの。
- ・県内の地域に偏らないもの。
- ・ヘリコプターが国内に広域応援に行く際に、鳥取県のへりだとわかりやすいもの。
- ・機体のデザインを説明しているもの。
- ・鳥取県の「とり」が入っているもの。
- ・安全・安心感が感じられるもの。
- ・既に馴染んでいる愛称と少し違いがあるもの。
- ・全国から多くの応募があったもの。
- ・ヘリコプターの空から見た光景が感じられるもの。
- ・県外からみて鳥取県を象徴するものであるもの。
- ・全国的に有名で古くならないもの。

今後、さらに愛称のコンセプトや愛称の候補を絞り込みながら、愛称の決定に向けて協議を進めていく。

## 6 今後の愛称選考委員会の開催予定

- (1) 日 時 平成26年9月5日(金) 14:00～16:00
- (2) 場 所 県庁第二庁舎4階 第27会議室
- (3) 議 題
  - ・入賞作品の選考及び決定について
  - ・その他

## <参考> 第1回愛称選考委員会

- (1) 日 時 平成26年6月3日(火) 14:00～15:10
- (2) 場 所 県庁第二庁舎4階 第27会議室
- (3) 議 題
  - ・愛称の選考基準(案)について
  - ・愛称の募集要項(案)について
  - ・今後の委員会のスケジュール(案)について

# 鳥取県消防防災ヘリコプター愛称応募状況

県内市町村別応募件数

市町村名	件数
鳥取市	295
米子市	123
倉吉市	51
境港市	21
岩美町	22
若桜町	4
智頭町	1
八頭町	20
湯梨浜町	37
三朝町	15
北栄町	8
琴浦町	6
伯耆町	6
日吉津村	1
大山町	5
南部町	8
日南町	6
日野町	4
江府町	0
計	633

県内	633
県外	1715
不明	21
計	2369

年代別応募件数

年代(才)	件数	25歳以下 (%)
不明	473	136 29%
0~9	59	56 95%
10~19	101	73 72%
20~29	126	27 21%
30~39	329	77 23%
40~49	476	104 22%
50~59	347	69 20%
60~69	340	70 21%
70~79	91	14 15%
80~	27	7 26%
計	2369	633 27%

応募方法	件数	小計
メール		1144
メールフォーム	949	
応募用紙	9	
任意様式	186	
郵送		574
応募用紙	144	
任意様式	430	
ファックス		233
応募用紙	139	
任意様式	94	
持参		23
応募用紙	23	
電話	1	1
その他	394	394
計		2369

都道府県別応募件数

都道府県名	件数	人数
鳥取県	633	380
北海道	36	29
青森県	8	7
岩手県	27	7
宮城県	35	23
秋田県	10	10
山形県	26	7
福島県	8	7
茨城県	27	18
栃木県	34	14
群馬県	16	12
埼玉県	108	65
千葉県	68	39
東京都	262	85
神奈川県	103	70
新潟県	20	16
富山県	13	9
石川県	11	9
福井県	10	9
山梨県	14	5
長野県	18	11
岐阜県	14	12
静岡県	23	21
愛知県	101	55
三重県	27	18
滋賀県	9	8
京都府	51	29
大阪府	231	88
兵庫県	66	50
奈良県	18	14
和歌山県	8	7
鳥取県	50	31
岡山県	15	12
広島県	23	17
山口県	39	22
徳島県	19	9
香川県	14	9
愛媛県	16	5
高知県	4	3
福岡県	74	43
佐賀県	3	3
長崎県	13	12
熊本県	11	11
大分県	6	6
宮崎県	17	12
鹿児島県	4	4
沖縄県	5	4
不明	21	2
計	2369	1333

応募件数 2369 件  
H26.7.18 時点

